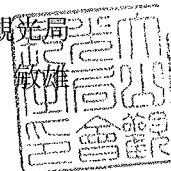


一社大観局第 5 号
平成 29 年 4 月 28 日

鳥取県知事 平井 伸治 様

一般社団法人大山観光局
代表理事 足立 敏雄



鳥取県立大山駐車場の管理運営に関する事業報告書（平成 28 年度）
について（提出）

鳥取県立大山駐車場の管理運営に関する協定書第 11 条の規定に基づき、標記事業報告書
を別紙のとおり提出します。

鳥取県西伯郡大山町大山 39-5
一般社団法人大山観光局
事務局長 小原 淳一
電 話：0859-52-2502
メールアドレス：j-kohara@daisen.gr.jp

鳥取県立大山駐車場の管理運営に関する事業報告書（平成28年度）

一般社団法人大山観光局

1 管理施設の管理の業務の実施状況及び利用許可期間における利用車両の利用状況

(1) 管理施設の管理の業務の実施状況

① 4月から12月末まで(無料期間)の状況

各駐車場の美化清掃及び環境整備、屋内駐車場の各種設備の点検など、定期的業務を中心に管理業務を実施しました。具体的な内容は次のとおりです。

- ア 駐車場内の清掃及び博労座・楨原に設置の公衆便所の管理・清掃
- イ 警報装置及び消火設備等の自主点検
- ウ 各駐車場周辺の草刈り（外部委託）
- エ 各駐車場の定期巡回（午前、午後各1回）
- オ 屋内駐車場のシャッターなどの修繕

② 12月から3月末までの状況

ア 管理体制

冬季の有料期間においては24名の臨時係員を事前計画したシフト表に沿って配置しました。また、大山冬季交通対策協議会及び地元自治会協力員とも連携し、事故等非常時には連絡を密にとりあい、冬の期間の円滑な交通の確保、駐車場の適正利用と安全確保に努めました。

イ 事故・苦情等

車両に係る事故は車両同士の小規模なものが1件ありましたが、警察官立会いのもと事故証明を発行して処理していただきました。また、除雪機と第2駐車場の粉末消火器および街路灯との接触事故が3件ありました。

お客様のスキー用品が車両に当りキズが付くといったトラブルが発生しましたが、駐車区画の変更、歩行者通路の変更を行い歩行者の安全確保を行い転倒による車とスキー用品接触のリスク軽減を図りました。

ウ 除雪業務

駐車場内の除雪業務に関しては、観光局で1台除雪機をレンタル契約して直営＋外注作業の協業による除雪体制で取り組みました。

また、1月の豪雪時には駐車場職員が夜遅くまで残り、駐車場の車（50台程度）を雪から脱出させました。

エ 利用許可期間

当期事業計画では12月23日から3月31日までを有料期間としていましたが、降雪の状況やスキー場の営業状況を踏まえ、新たに変更を加えた協定の条項により3月26日をもって有料期間を終了することとし、県当局より承認いただきました。

オ 利用料金

スキー客の利用促進を目指し、今年度より平日1000円で屋内駐車場を営業すると共に、例年通り乗用車の駐車料金1000円を、利用者へのサービス向上の一環として引き続き平日半額割引措置を実施しました。

また、だいせんホワイトリゾートの協力により、駐車場シーズン券（利用実績により正規料金で清算）を発券、お客様の利便性の向上を図りました。

カ 自動販売機の設置

楨原駐車場への飲料の自動販売機の設置に関しては、今季も取扱業者からの申し出がなかったため、自動販売機の設置は行いませんでした。

(2) 利用許可期間における利用車両の利用状況

利用車両の利用状況（台数）に関しては別紙のとおりです。

（県立大山駐車場及び南光河原駐車場の内訳については別紙「駐車場売上資料」参照）

2 管理施設の利用に係る料金の収入の実績

別紙「合計残高試算表」（損益計算書）ならびに「駐車場売上資料」をご参照ください。

3 管理施設の管理に係る経費の収支状況

別紙「合計残高試算表」（損益計算書）をご参照ください。

各駐車場駐車車台数(平成28年度合計)

	第1駐車場		第2駐車場		第3駐車場		第4駐車場		第5駐車場		屋内		県立合計		南光河原駐車場		総計	
	小型車	バス	小型車	バス	小型車	バス	小型車	バス	小型車	バス	小型車	バス	小型車	バス	小型車	バス	小型車	バス
4月	350	47	95	0	0	0	190	29	615	0	0	0	1250	76	689	0	1939	76
5月	964	32	411	0	8	0	555	21	1,062	4	79	3079	57	1,194	0	4273	57	
6月	547	35	209	1	8	0	146	2	799	1	65	1774	39	853	0	2627	39	
7月	846	34	173	1	0	0	570	46	1,122	1	0	2711	82	1,226	1	3937	83	
8月	1,015	59	441	0	0	1	412	23	1,353	4	85	3306	87	1,525	0	4831	87	
9月	534	37	132	0	0	0	387	17	886	5	0	1939	59	827	0	2766	59	
10月	947	55	832	0	49	0	227	13	1,083	18	676	3814	86	1,319	2	5133	88	
11月	765	14	347	0	0	0	591	17	1,160	4	32	2895	35	960	0	3855	35	
12月	993	14	391	0	4	0	364	1	442	3	447	2641	18	571	0	3212	18	
1月	3,698	0	2,741	0	0	0	1,714	0	0	109	2,900	11,053	109	855	0	3,755	109	
2月	3,954	0	3,179	0	0	0	1,315	0	0	169	3,612	12,060	169	797	0	12,857	169	
3月	3,404	0	1,983	0	0	0	970	0	81	56	2,037	8,475	56	891	0	9,366	56	
合計	18,017	327	10,934	2	69	1	7,441	169	8,603	374	9,933	54,997	873	11,707	3	58,551	876	
月平均	1501.4	27.3	911.2	0.2	5.8	0.1	620.1	14.1	716.9	31.2	827.8	4583.1	72.8	975.6	0.3	4879.3	73.0	

12月23日～3月26日 有料営業

合計残高試算表

(税込)

【損益計算書】

県立駐車場

1頁

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高
《経常損益の部》				
【営業損益の部】				
【売上高】				
売上高	0	500	36,915,100	36,914,600
売上値引高	0	374,900	0	-374,900
受託料収入	0	0	0	0
負担金収入		9,200	4,323,100	4,313,900
売上高計	0	384,600	41,238,200	40,853,600
【売上原価】				
期首商品・製品棚卸計	0	0	0	0
当期商品仕入高計	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
期末商品・製品棚卸高計	0	0	0	0
売上原価計	0	0	0	0
売上総利益	0	0	40,853,600	40,853,600
【販売費一般管理費】				
給料手当	0	7,708,578	1,386,042	6,322,536
役員報酬		200,000	0	200,000
雑給	0	10,967,880	969,825	9,998,055
賞与	0	751,300	0	751,300
法定福利費	0	1,363,140	208,874	1,154,266
福利厚生費	0	70,845	0	70,845
外注費	0	7,262,112	361,000	6,901,112
通信費	0	322,359	0	322,359
荷造運賃	0	319,140	0	319,140
水道光熱費	0	1,475,985	0	1,475,985
旅費交通費	0	1,560	0	1,560
会議費	0	0	0	0
消耗品費	0	2,212,457	2,664	2,209,793
備品費	0	0	0	0
保守管理費	0	639,000	0	639,000
修繕費	0	783,467	0	783,467
地代家賃	0	30,000	0	30,000
需用費	0	0	0	0
保険料	0	486,905	0	486,905
租税公課	0	916,621	0	916,621
リース料	0	2,978,639	0	2,978,639
支払手数料	0	47,560	0	47,560
財産・土地使用料	0	5,911,184	0	5,911,184
減価償却費	0	0	0	0
雑費	0	96,910	0	96,910
負担金	0	2,000,000	0	2,000,000
販売費・一般管理費計	0	46,545,642	2,928,405	43,617,237
営業利益	0	0	-2,763,637	-2,763,637
【営業外損益の部】				
【営業外収益】				
受取利息	0	0	149	149
雑収入	0	0	59	59
現金過不足	0	21,250	21,250	0
営業外収益計		21,250	21,458	208
【営業外費用】				
雑損失	0	8,150	0	8,150
営業外費用計		8,150	0	8,150
経常利益	0		-2,771,579	-2,771,579
《特別損益の部》				
【特別利益】				
特別利益計	0	0	0	0
【特別損失】				
特別損失計	0	0	0	0
《差引損益の部》				
税引前当期純利益(損失)	0	0	-2,771,579	-2,771,579
法人税、住民税及び事業税		25,630	25,630	0
当期純利益(損失)	0	25,630	-2,745,949	-2,771,579
前期繰越利益(損失)	16,208,751	0	0	16,208,751
当期末処分利益	16,208,751	25,630	-2,745,949	13,437,172